修学旅行と非行生徒 ②

千葉県松戸市立第六中学校長　庄司孝一

五十七年度修学旅行の太秦での経験は、本校にとっても、色々なことを考えさせ、かつ、大きな反省もさせられる契機ともなった。

その第一は、まず、見学場所として、映画村の太秦を選んだということである。

関東地区の中学校の修学旅行は、大別すると、関西方面と東北方面の二種に別れることは衆知の事実だ。

しいていえば、前者は、わが国の歴史的文化的遺産の学習を主とし、後者は、東北という大きな自然に触れるといったことを、主たる目標にしているといってよいかも知れない。(両者が、それぞれ混合した面を持っていることも事実だが…)。

そうした中に、現代の娯楽文化の象徴ともいうべき、映画村を入れたことが、果して見学場所として適当であったかどうか。そこに、修学旅行を物見遊山的に考える、心の緩みがなかったかどうか。

また、修学旅行の行き先きについては、当該学年の教師の嗜好による、などという批判もないわけではない中で、その行き先きないし見学場所の選定について、安易に、従来の惰性に従って、単純に決めていた所がなかったか。改めて、教育的見地に立って、抜本的かつ慎重な検討をしてみる必要がありはしなかったか。

悪貨は良貨を駆逐する

第二には、生徒指導上の問題についてである。太秦で遭った横浜の中学校の生徒の様子は、正に、そのスケールの大きさ、数の多さにおいて、わが校の職員や生徒に、一大ショックを与えた。

横浜での中学生の浮浪者殺害事件があったのは、あの年度の末であった。新聞等であれを知った時、『さもありなん』とは、職員の共通した感想であった。(太秦での生徒と同一であったかどうかは分らない)。

やくざ集団というか、暴力集団というか、およそつっぱりなぞという範疇からは、遥かに飛び出してしまっているあの雰囲気は、ただただ異様としかいいようがなかった。

しかも、それを学校側が放任してしまっている…というより、逆に、学校側が彼等に呑み込まれてしまって、なすがままにさせられているといった状況は、ただただ恐るべきものというよりなかった。

睨まれ、挑戦され、徹底した示威運動をされた本校のつっぱり達は、日頃の元気も何処へやら、「何を!」という気持ちだけは持っていたようだが、手も足も出ず、先生や学友達に守られて、辛うじて脱出したような状態で、さすがの彼等も、「参ったろう!」というのが、それを見た大方の先生方の感想であった。

所が、どうしてどうして、逆に、あの横浜の連中は、学ラン、ボンタン、白のエナメル靴などを履いて堂々と修学旅行に来ていたじゃないか。俺達には何でそれを許さないんだと、喰ってかかる始末であった。

正に、悪貨は良貨を駆逐するである。修学旅行でわざわざ関西まで悪貨の見本を学習に行くとは、皮肉とも何ともいいようがない。

第三に、修学旅行に対する、学校体制その他に関する問題である。

そもそも学校や教師の指導に従わないような生徒を、宿泊を要するような学校行事に、平然と連れて来るといった、学校の体制はどうしたことだろうか。太秦でのあの行動をみただけで、宿舎における、彼等の生活行動その他は、推して知るべしである。夜間外出の指導など、一体どうなっていたのだろうか。

最後に、校長会はじめ修学旅行関係諸団体は、こうしたことに本格的に取り組むべきであると思う。少くとも、指導の参考書位は作成して、加入校に配布し、修学旅行に対する学校体制の確立に、寄与すべきであると思う。修学旅行を醜学旅行にしてしまっては大変である。

(関東地区公立中学校修学旅行委員会運営委員)

修学旅行感想文

三十三間堂に行って

渡辺光恵

楽しみにしていた修学旅行第一日目。東京駅から「ひかり号」に乗り、あっという間に京都駅についてしまいました。駅から出てまず思ったのは、駅付近の景色があまり東京の方と変わらないということです。そこからバスに乗り、いよいよ三十三間堂に向かいました。三十三間堂に向かう途中、店先に大きなちょうちんをかざってある、京都らしい店があり、やっと京都に来たんだという気がしました。

三十三間堂は、修学旅行の見学地の中でもとくに印象に残っている所です。とても長くて大きい建物だなーと思いました。お堂の中の柱と柱の間が三十三あるのでこの名まえがついたといいます。中に入ると、まずはじめにお線香のにおい、続いてズラーっとならんだ千手観音を見たとき、圧とうされて「すごい!」の一言しか出ませんでした。お堂の中にズラーっと千手観音がならんでいるのだということは聞いていましたが、こんなにすばらしいものだとは知りませんでした。ことわざに「百聞は一見にしかず」とありますが、ほんとうにその通りだと思いました。そして千体もの仏像が一体一体表情が違うのにはもっとびっくりしました。まるい顔、ほほえんでいる顔、悲しい顔など、一体一体つくるのはとてもたいへんだったろうと思います。さらによく見ると、手の位置なども違うということに気が付きました。創った人の努力は、はかりしれないと思います。後ろにまわると、気迫ある像がならんでいます。一像一像、個性があって、力強さが生き生きと表れていました。とくに、風神・雷神はすごい目をして、今にもおそってきそうな迫力に満ちていました。

昔の人は、彫刻や建築にも表れているとおり、すばらしい技術を身につけていたのだなとあらためて感心しました。

嵯峨野めぐり

田村和徳

三十日のほぼ十一時半。京都駅に着く。自分の想像していた風景とまったくちがう。だがここは駅なのでおちこむことはない。自由行動に入り京都の奥へ奥へと入って行った時は心がはずむようだ。細い道、古い家、土産屋、人のよさそうなお年寄り、この自分の思っていた、真の京都に近づいてきた。化野念仏寺を通り、次は祇王寺へむかうはずのぼくたちの班。だが、どこでくるったのか、ついた所は、釈迦堂。もうしょうがないから二尊院のチェックポイントをめざした。二尊院のそばまできたのだが、やはり少々、不安な気持だった。すると自分の後から、「どこへ行きたいの」……と地元のおばあさんが尋ねてくれた。心はハッピー、ルンルン気分だった。「二尊院へは、どうけばいいんですか?」と聞くと、「ああ二尊院ならこの道まっすぐ行ってすぐだよ、気いつけて(気をつけて)いってらっしゃい。」とぼくの思っていた「京都の人」に、親切に教えてもらった。人柄はやはりいい人なんだ。だが二尊院の前でやくざ風の人達に出合った。京都をまたうたがってしまった。たこやき屋のお姉さんも、少し自分にはショックであった。ずっと歩いてるとある寺があった。入って行ってみると受付けがある。その受付けのおばあさんが寺の中の様子を話してくれた。中には、いろいろと展示してるようだ。グループのみんなは入りたくなさそう。ぼくも入りたくはなかった。でもおばあさんは、「もう明日までしかやってないからぜひ見て行って下さい」とすすめられた。だがぼくたちは、なんとかうまく入らないですんだ。最初は「ああ危なかった。」と気は少し楽だったけど後から気ずいた。やさしくしてもらってまたやさしくしてもらったのに、あんなことをして良かったのか。京都の人の親切をあの時はじめて、むだにしてしまった。

坐禅……

帰山明子

私は、坐禅をくんだのははじめてである。

その日は、朝早くからぎぶとん一枚もって外に出た。私たちの班は、まあまあ早い方だった。みんなが入口付近でざわざわとしゃべっていると、お坊さんの一声、二声、

「うるさい!!静かにしておれんのか!!」

「はやくならべ!!」

などとどなりちらしている。やっとならんで進んだ。これからあの坐禅をやるのかと思うと、もう足がいたくなりはじめた感じだった。お寺の中に入ると、まあまあ広かった。寺というものをこんなにじっと見て、中まで入ったのもはじめてだった。どこでくまされるのかと思うと、いちばん奥の方の建物の中だった。入るとうす暗くて、目がなれるまでよく物が見えなかった。手前に仏様らしきものが、そして正面と両側でどうやら坐禅をくむところみたいだ。私は、そこで正座をするんだと思ったら、ちゃんとくまされた…といっても片足だけ。なんだか片足だけだと重心がどこにいっていいのかわからなく、とてもいたい…。

正式な坐禅がはじまった。手をくみ、背すじをのばし、目は、半眼で一点をぐっとにらみつける…呼吸もしだいにととのえ、やっとおちついてきたころに足がもうしびれてきた、お坊さんがまわってくる。…私の目の前でたたかれた人がいた。たたかれる音がすごく響くのでとてもいたそうに感じられた。…もう足がいたくてもたないというところでやめになった。私は、坐禅をしていたときの方がいろいろと考えてしまった。

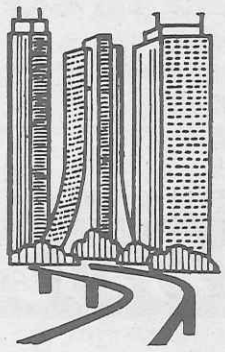
「はやくおわらないかなあ…足がいたいよう。あとなん分かな……。」

などなど、これじゃなんのために坐禅をくんだのかわからない。もう二度とくみたくないと思いました。でもこの一回が、とても思い出になると思います。

……

感想文は、埼玉県戸田市立喜沢中学校(高橋尹敏校長)三年生の寄稿です。

首都東京を見て、何かを!



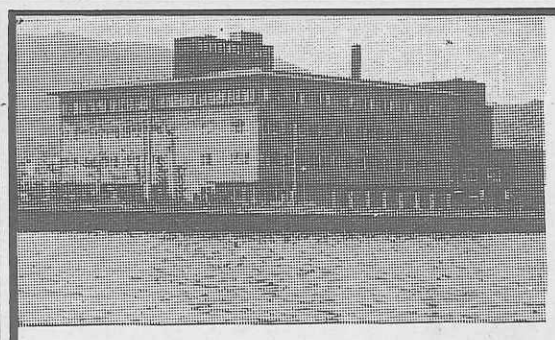
学校単位の貸切りでご利用下さい

30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容

本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4−36−3 TEL 03−813−9381



いらっしゃいませ

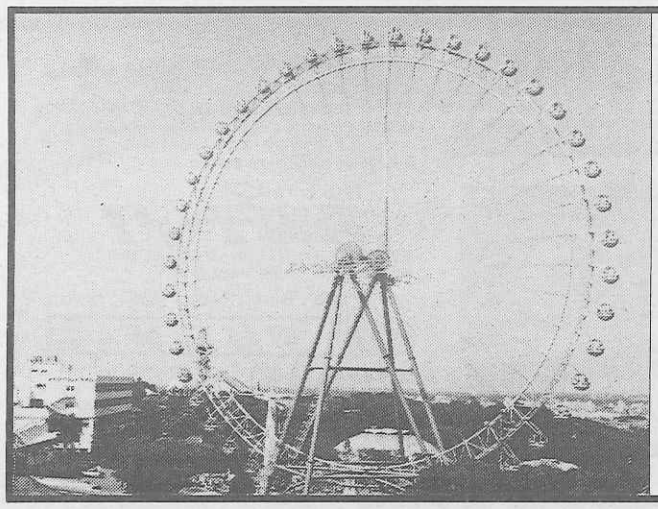
びわ湖国定公園

近江路の旅へ

収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台

政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル

大津市におの浜3丁目2−25 電話 大津(0775)24−2321



三六〇度のパノラマ大観覧車

㊟防火基準適用施設

修学旅行、受験生の宿泊に最適!!

東京の都心から30分の地の利にある「よみうりランド」敷地内に1,500名宿泊収容できるよみうりランド会館があります。多摩丘陵の静かで落ついた環境の中で、楽しい旅行を満喫して頂けるよう安いご予算で限られた旅行スケジュールを効果的にあげるご便宜を計っております。

また、一般の方や、団体旅行の宿泊はもちろんのこと、各種会合や研修会などのご用命も承っておりますので、ぜひご利用ください。

※ご宿泊特別ご優待　よみうりランド入園ご招待、その他の施設は割引

よみうりランド会館　東京都稲城市矢野口3294　TEL 044(966)1137〜8

交通のご案内　京王線京王よみうりランド駅→スカイロード(動く歩道)、小田急線読売ランド前駅→直通バス
首都高速3号線(渋谷線)→東名川崎インター8km、首都高速4号線(新宿線)→中央高速調布インター5km

新しい修学旅行を模索して

――松戸六実高の歩み――　②

百瀬明宏

◇はじめに

前回は学年主任より「新しい修学旅行を模索して」と題し、高校教育と修学旅行のあり方について、教育的効果並びに本校の修学旅行の基本方針等を述べたが、以後は具体的活動について報告していきたい。

今回は、本校のこれまでの修学旅行の実態とその問題点、さらにわれわれのめざす新しい修学旅行とはどういうものか若干説明したい。

一、本校の修学旅行の実態

本校は今年で創立六年目を迎える普通科高校である。修学旅行は過去四回実施している。実施時期は、二学年二学期、三泊四日の日程で、行き先は京都・奈良・岡山方面であった。行動の基本単位はクラスで、時に学年全体の行動も含まれていた。修学旅行の内容は、主に各地の名所旧蹟や京都・奈良の寺院の拝観などいわゆる「見学」が中心であった。

ところが、本年度より一学年のクラス数が十クラス（四五〇名）になったため、学年全体での行動や、宿泊施設等で今後さまざまな支障をきたすおそれが出てきた。さらにこれまでのような見学、拝観が中心の修学旅行では、レジャー的色彩が濃く、「修学」というよりもむしろ「観行」旅行ではないか、といった学年会議での意見もあり、対策を講ずる必要が出てきた。

確かに学年全部が一つの所に行き、同じものを見学し、寝食を共にすることは、集団生活・集団行動を身につけるには最適かもしれない。

しかし、余りに生活指導面のみ強調され、それにもかかわらず現実には数多くの事故が起き本来の「修学」旅行の趣旨が生かされていないのが実態である。

本校の目指す修学旅行

そこで、本校の修学旅行は、本来の修学旅行の趣旨に基づき、また学校、生徒の実情に合わせ、課題学習と旅行を結合させた新しい形態の修学旅行を実施しようということになったのである。

二、きっかけ

年度当初、来年度の修学旅行について、日程・方向等を決めるための学年会議が開かれた。その席上、今までとは違った、グループ別行動主体の修学旅行を実施してはどうかという意見が出された。

そこで、われわれは本校職員の前任校での実践を聞いたり、他校でのグループ別行動の実践を調べたりしながら、新しい形態の修学旅行を模索していた。ちょうどその頃、本校の修学研究と基本的に同様のものがすでに実施されていた記事が、毎日新聞に都立田柄高校の「一人一研究」ということで紹介された。

本校で実施しようとする修学研究の骨子は、生徒全員に何か一つテーマを決めさせ、それをこれから一年半近くかけ事前の調査・研究を行ない、旅行ではそれを実地検証し、あるいは聴き取り調査を行ない、あるいは体験して、旅行後に各自でまとめるというものである。

三、体制づくり

本校での新しい修学旅行の大筋が学年会議で了承されたことにより、修学旅行を実施するにあたっての推進委員が四名決定された。この四名が中心となり業者の選定、生徒のテーマ決定、グループ分け、具体的旅程の検討にあたることになった。また全職員にも現一学年の修学旅行の趣旨を理解してもらい、協力を要請することとなった。

次回は、こうした本校の修学旅行の趣旨に基づき、業者選定の過程を報告したい。

（千葉県立松戸六実高等学校・修学旅行委員長）（つづく）

風土記の丘だより　⑧

吉備　岡山県

〝現代のまほろば〟吉備

旧山陽道に沿った吉備路は、古くから吉備の国とよばれ、大和、出雲などと並ぶ文化が生まれ育ったところで、今なお往時をしのばせる貴重な文化遺産が多数散在している。

「吉備路風土記の丘」は、旧山陽道に沿った備前・備後の一部にまたがる吉備史跡県立公園の中でも、歴史的景観とそれを含めた自然景観の勝れた地区（岡山市新庄上・下区域、総社市赤浜・下林・上林・三須区域、都窪郡山手村宿・岡谷・地頭片山、西部区域）面積約八百八十七㌶を中心として、文化財保護上必要な地域を新たに風土記の丘に指定した区域である。

造山古墳、作山古墳、こうもり塚、備中国分寺、国分尼寺跡などの貴重な文化財が散在し、かつて独特の文化を誇ったといわれる吉備王朝のありし頃をしのばせる。周辺には、吉備路自然歩道が整備され、〝現代のまほろば〟吉備の里を散策できる。

造山古墳（長径350㍍、高さ24㍍の前方後円墳）は、仁徳、応神、履仲天皇陵に次ぐ全国第四位の規模をもち、上中下の三段からなり円筒埴輪の列をめぐらしている。吉備国を支配していた豪族の墓であると考えられており、これをみても当時、大和朝延に匹適するような権力者の存在と文化の繁栄がわかる。その他大小、数百の古墳が点在し、横穴式石室をもつこうもり塚古墳（全長90㍍の前方後円墳）、県下で造山古墳に次ぐ規模をもち当時の典型的古墳といわれる作山古墳（全長270㍍の前方後円墳）は代表的なものである。

また、奈良時代に創建され、南北朝の戦火で焼失後、江戸時代に再建された国分寺や、大和法隆寺など都の寺院に匹適する規模を礎石、土塁などに残す備中国分尼寺跡、比翼入母屋造りの荘重な社殿が歴史の重みを感じさせる吉備津神社など、今日貴重な文化遺産として、私たちに歴史を語りかけてくれる。

吉備路郷土館では、風土記の丘周辺の出土品を中心に展示し、造山古墳、備中国分寺などの写真パネルで吉備地方の歴史を解説している。

（資料提供＝岡山県観光物産課）

天平文化の華やかさがうかがえる備中国分寺

10月の催し物

交通博物館

ミニ機関車にのろう！

▽小型蒸気機関車運転会　50㍍の線路を127㍍（約10分の1）の小型蒸気機関車を運転、4歳～小学六年生まで乗車できる（無料）。期日＝十月九～十日、午前十時三十分～十二時、午後一時～四時。雨天の場合中止。

▽鉄道記念日にちなんで　①車両運転室の特別公開　C57型蒸気機関車、東海道新幹線の運転室を公開。期日＝十月十四日～十六日、午前十時～午後四時。②映画会　昭和二十年代の特急「つばめ」号の運転状況（25分）、東北新幹線雪対策の記録（38分）。期日＝十月九日～二十三日、平日午後二時、日・祝日午前十一時、午後一時、三時。

ニュース点描

韓国で前方後円墳発見　日本にだけ存在し、中国や朝鮮半島はないとされ、その発生が歴史学上の〝謎〟とされてきた、前方後円墳が韓国で発見され、学界、教育界の注目を集めている。この古墳は、韓国の南部、慶尚南道馬山市に近い、同道、固城郡固城邑松鶴洞でみつかった「松鶴一号古墳。発見者は、大邱市嶺南大学の姜（かん）仁求教授。同教授の知らせを受けた同志社大学森浩一教授（考古学・古墳研究の第一人者）は六月十五日訪韓、姜教授とともに現地検討「前方後円墳に間違いない」と確認した。

そのレポートは、読売新聞（八月三十日付）に四回にわたって連載された。それによると、墳丘の長さが六六㍍、後円部の直径三三㍍、高さ四・五㍍、姜教授は、日本の前方後円墳のルーツは韓国との説を立てているとのことだが、森教授は慎重に今後の研究によるとしている。もしも、第二、第三と発見され、年代が古いものであったら、騎馬民族説とつながらないのか。古代史をゆさぶる大きい問題である。

◇　◇

法隆寺の秘密地下蔵　法隆寺の七不思議の一つとされてきた、秘密の蔵、伏蔵（ふくぞう）は三つあるとされながら、二つしか分っていなかった。その三つ目が、このほど県立橿原考古学研究所と奈良国立文化財研究所の発掘調査で、その存在が確認された。そこは西院伽藍（がらん）の中門の西南約五十㍍。創建以来千四百年間、財宝は眠っているが、開いてならぬおきて、当時の何が「秘蔵」されているものであろうか。

◇　◇

日本最古の魚の化石発見　山口県豊浦郡菊川町の採石場で、約一億七千万年前のものとみられる、レプトレピス科の魚の化石が見つかったという。これは、サメ、エイなどを除いた現存魚類の直接の先祖で、発見は日本で初めて。菊川町地区はジュラ期（一億四千万～一億九千五百万年前）の地層、発見者は、北九州市の原田隆弘氏。北九州市自然史博物館学芸員薮本美孝氏、国立科学館の魚類化石研究の権威上野輝弥氏が「間違いない」と断定したとのこと。発見前原田さんのような、〝街〟の研究者に〝拍手〟をおくる。

◇　◇

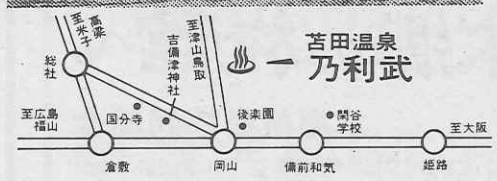
北アルプスのライチョウ数　信州大の羽田健三グループが二十年以上にわたって、特別天然記念物、ライチョウの生態調査したところによると、北アルプス全域に、現在約二二〇〇羽すんでいるとのこと。七月二十五日日本生態学会で発表。

育てる心は、みんな同じ。

●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2331㈹

山陽路 岡山のお宿



■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。（500名可能）

昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。

政府登録国際観光旅館
とまだ苫田温泉乃利武
〒701－11　岡山市栢谷1453
☎086294－2321　TELEX. 5922－621

「今日」に触れ、学び、修める、モートピア体験。

興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。

エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモートピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつくられることでしょう。

防火優秀施設　消防長官賞受賞

陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992／☎(0593)78-1111
●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車直通バス
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離。
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

緑のモートピア
多摩テック
〒191 東京都日野市程久保1／☎(0425)91-0820
●京王線多摩動物公園駅下車直通バス

ご視察のお申し込み、資料ご請求は…
株式会社ホンダランド
名古屋営業所/修学旅行課：〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12
竹生ビル☎(052)571-7176
本社/東京営業所：〒104 東京都中央区八重洲2-6-20
ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821
大阪営業所：〒530 大阪市北区芝田2-1-1
阪急芝田町ビル☎(06)372-1526